

京都の福祉

Welfare of the Kyoto

535

2014.1 January

● 京都府社会福祉協議会会長挨拶
 安心と希望の持てる地域社会を
 築いていくために
 ● 京都府知事挨拶
 京都の力は人、人の交流で京都の
 元気を創り出そう

● 京都における豪雨災害支援から
 見えてきたこと
 災害V.Cの支援力を高めるために
 ● 夢中！熱中！ふくしびと



笑顔の写真館

もえくさ

現在社会福祉法人の在り方に
 関する検討が進められている。
 昭和二六年制定の社会福祉事業
 法により創設された社会福祉法
 人は、日本の社会福祉事業の根
 幹を担いつつ、今や全国で約
 二万を数える。平成九年の介護
 保険法の成立、それを受けた平
 成一二年の関連八法の改正と併行し進めら
 れた「社会的な援護を要する人々に対する
 社会福祉のあり方に関する検討会」では、社
 会福祉法人などが自主的・自発的に福祉問
 題を発見・対応する取組の強化が検討され
 平成一八年の社会福祉法人経営研究会の提
 言では、法人規模の拡大や法人単位の資金
 管理、経営能力の向上等が要請された。こ
 のような流れの中で、昨年六月に閣議決定
 された日本再興戦略(成長戦略)では、財務
 諸表の公表を推進すること、法人の規模拡
 大を推進し、経営の高度化を図るための仕
 組みを構築すべきこと等が提言され、更に
 八月に発表された社会保障制度改革国民会
 議報告書でも、経営の合理化、近代化が必
 要であり、大規模化や複数法人の連携を推
 進していく必要があること、非課税扱いと
 されているにふさわしい国家や地域への貢
 献が求められており、低所得者の住まいや
 生活支援などなどに積極的に取り組んでい
 くべきこと等が提言されている。先駆的・
 開拓的に事業を展開してきた昭和二六年以
 前の京都の先人たちの偉業に思いを馳せる
 とき、制度の谷間に埋もれる様々な地域の
 ニーズに果敢にチャレンジする社会福祉法
 人の再興を願わずにはいられない。(MK)



安心と希望の持てる 地域社会を築いていくために

京都府社会福祉協議会 会長 増田 正蔵

新年あけましておめでとございませぬ。皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、政権交代以来、景気の動向や社会保障をめぐる情勢に変化の兆しが出てきたと言われていますが、わたしたち府民の暮らしは依然として厳しい状況が続いています。急速に進行する少子高齢化や「無縁社会」という言葉に象徴される人と人、人と社会とのつながりの希薄化などを背景に、わたしたちの暮らしの場である地域社会では介護・医療・福祉ニーズが拡大し、複合的で多様な生活課題が表面化してきました。

このような中、昨年末に生活困窮者自立支援法が成立し、経済的に困窮している人や孤立している人を早期に見つけて支援する仕組みづくりが始まりました。さらに昨年を振り返ってみますと、障害福祉分野では障害者差別解消法の成立や国連の障害者権利条約の

批准があり、高齢福祉分野では介護保険制度見直しの動きがありました。児童福祉分野では子ども・子育て関連3法に基づく地域の子ども・子育て支援の総合的な推進に向けた基準の検討が進みました。本年は、平成27年度に施行された福祉をめぐる各分野の改革に向けた転換期を迎えると言えます。福祉に携わる者は、地域において積み上げてきた実践をさらに拡充しながら、支援を必要とする人たちにとってより良い制度が構築されるよう現場から声をあげていく必要があると考えています。

京都府社会福祉協議会といたしましては、これまで取り組んできました高齢者等の孤立を防ぐ活動の推進に加え、生活困窮者等を支援する取り組みに力を入れてまいります。具体的には各市町村の社会福祉協議会や民生委員・児童委員、社会福祉施設はもとより企業等の社会貢献を含めた幅広い社会資源の連携をめぐり「絆ネット」による見守りや早期のニーズキャッチ、生活福祉資金貸付や地域福祉権利擁護事業を活

用した寄り添い型の相談・生活支援など総合的な地域福祉の展開を図ってまいります。また、深刻さを増している福祉人材の確保につきましても「福祉人材の採用、育成、定着を一貫してサポートする福祉人材センター」を目指して施設や事業所・関係機関と一層連携を図り、事業を推進してまいります。

近年、国内で自然災害が相次いでいます。昨年9月には台風18号が襲来し、京都府にも甚大な被害をもたらしました。災害はいつ何時起こるかわかりません。災害時の復旧・復興支援活動に不可欠な存在として位置づけられている災害ボランティアセンターは災害時に確実に使命を果たせるよう平時から体制の充実に取り組んでまいります。

本年も京都府社会福祉協議会の事業にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年のはじめにあたり皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたします。



京都の力は人、人の交流で京都の 元気を創り出そう

京都府知事 山田 啓二

府民の皆さま、あけましておめでとございませぬ。

昨年を振り返って

昨年は、台風第18号や福知山花火大会での事故、通学児童を巻き込む交通事故など、府民の生命・財産を脅かす災害や事故が相次いだ年でした。改めて亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害を受けられた皆さまにお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧のために、府は、国・市町村とともに全力を挙げて取り組んでまいります。

一方で、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、和食のユネスコ無形文化遺産への登録など、日本の良さが世界に認められるとともに、国内の景気や雇用情勢に明るい兆しが見えてきた年でした。また、府内でも、犯罪件数の減少や有効求人倍率の改善、学力テストの着実な進歩など、さまざまな分野で明るい話題もありました。今年はいくつ希望を、オール京都の取り組みでさらに実感できるものに変えていく年にしたいと思います。

人こそ京都の力

そのためには、京都の未来像を明確にして、府民の皆さまと力を合わせて進んでいきたいと思えます。京都は、北は京丹後市から南は南山城村まで、豊かな自然の恵みと歴史と伝統の積み重ねの中で共生を基調とする日本文化を育み、多くの産業を興してきました。首都は東京に移りましたが、文化や伝統や職人のこのころまで移ったわけではありません。今も京都は、日本最高の文化と優れた技術力を受け継ぎ、多数の大学から有為な人材を送り出し続けています。人こそ京都の力です。人が育ち、集まり、交流することこそ、京都の未来を輝かせるものです。

京都の元気は交流から

京都縦貫自動車道は来年いよいよ全線開通し、平成28年度には京丹後市まで延びて京都の南北軸が完成します。京都舞鶴港には外航クルーズ船の寄港も増え、新名神高速道路の着工凍結も解除され、さらにJR奈良線の複線化も進めます。

この新しい交流基盤の上に、「海の京都」をはじめ京都の魅力を生かした

観光振興、旧「私のしごと館」を活用したオープンイノベーション拠点をはじめとする国際的な研究開発、東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた日本文化の祭典や2021年の生涯スポーツの国際大会「ワールドマスタースゲームズ」の開催など、国内外の人の交流、産業や文化の交流を進め、和食や宇治茶、日本酒、京野菜を日本全国に世界に発信しながら、京都の元気を創っていきたく考えています。

人のこころを原動力に

交流によって人を育て、新しい文化技術、産業が生み出される京都には、日本人のこころや生き方、伝統や文化を学ぶために、世界中からさまざまな人が訪れます。そして、その中から創り出される「人」に対する思いやり、「環境」に対する優しさなど、世界の人々に共通する「こころ」が、これからの少子高齢化やグローバル化など、私たちが取り巻く多くの課題を解決する原動力になると信じています。一緒に、次世代の子供たちが誇れる京都をつくりましょう。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

福祉事業を始めるなら
賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度
「まごころワイド」をおすすめします。

充実の賠償責任補償制度、
安価な傷害見舞金補償制度など
必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、
京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで
福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合保険代理店 **S.R.M. 株式会社 エスアールエム**

専用TEL **075-822-8613**
福祉の保険ホームページ **www.srm-net.co.jp/smile/**

引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社
この広告は保険の特徴を説明したものです。
詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」
イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

6年ぶりに
京都市内で開催

平成26年 春巡業
大相撲 京都場所

■チケット料金 ☆全席京都場所記念座布団つき!

◆1階席	○たまり席(1名分) 12,000円~14,000円	○イス席(1名分) 8,000円~10,000円
	○ベア枱席(2名分) 20,000円~22,000円	○車イス専用席(1名分) 6,000円
	○4人枱席(4名分) 36,000円	〔付き添い席(1名分)〕 6,000円
◆2階席	○イス席(1名分) 6,000円~12,000円	○自由席(1名分) 5,000円

平成26年 4月1日(火) 開催! 開場8時~ 打出し(終了)15時

島津アリーナ京都 西大路通大將軍西200m
会場 (京都府立体育館)

主催 大相撲京都場所実行委員会 実行委員長: 荒巻禎一
京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル 6F
TEL 075-256-0186(代) FAX 075-256-0198 E-mail info@oozumou-kyotobasyo.com

詳しくはホームページ
URL http://oozumou-kyotobasyo.com

平成25年12月8日(日) 午前10時よりチケット販売開始

■チケットのお求めは… ☎0570-000-732(自動音声)

- ローソンチケット ☎075-211-8111
- 大丸京都店 7F 特設売場(10:00~20:00) ☎075-221-8811
- 高島屋京都店 7F チケットショップ(10:00~20:00) ☎075-431-8300
- KBS京都事業部 ※電話対応のみ ※土日祝日休み ☎075-256-0186
- 京都場所実行委員会事務局 ※土日祝日休み ☎075-256-0186

※但し、発売開始日(12/8(日))は、商工会議所で販売します。(電話での受付は正午より)

※東日本大震災で被災され京都府に避難しておられる方々ならびに京都在住の留学生、福祉関係者など1,000名が無料招待されます。
(本会増田会長は実行委員会顧問に就任しています。)

近

年の気象変化は全国各地に災害をもたらしています。地震については、今日、巨大地震の活動期にあたるとの指摘もあり、水害にしても地震にしても、いつ、どこで発生してもおかしくない状況です。京都は2年続けて大きな水害に見舞われ、5市町で災害ボランティアセンター（災害VC）が設置されました。その経験から、今後の災害VCの支援力を高めるポイントをとらえてみました。

京都では4度の災害に災害VCを立ち上げてきた

京都の社協が災害時の支援活動を行うようになったのは阪神淡路大震災からです。当時、京都府内の社協では芦屋市社協に現地対策本部をおき福祉救援活動にあたりました。以降、京都では下表のとおり地元災害VCが設置されボランティア活動が行われてきました。

平成16年台風23号災害のあと、京都府災害VCが常設のセンターとして発足しました。現在では府内7市町で常設の

京都では常設の災害VC設置をすすめています

治会による復旧活動への継続的な支援につながります。日ごろから自治会・社協・災害VCの関係づくりを行いましょ。

● 配慮が必要な人たちのニーズを受け取る

高齢者や障害のある人々への支援ができるよう、民生児童委員や福祉委員、当事者団体、相談支援機関、社会福祉施設等との連携をもちましょ。

● 高校生ボランティアの参加

各被災地ではボランティア活動にはげむ多くの高校生の姿がみられました。高校生のがんばりは、多くの人を勇気づけます。地元高校との連携を図り、高校生の自発的なボランティア参加を支援する仕組みをつくっておきましょ。

● 行政との連携・協働を軸に、常設型災害VCの設置をめざす

この2年の災害で立ち上げた災害VC5か所は、いずれも常設型のセンターであったり、行政との協定があったり、これまでも災害支援で協働している団体が設置するなど、

センターが設立されています。本会では、今後とも、京都府災害VCとともに市町村域での常設設置を支援していくことにしています。

年	災害	災害VC／ボランティア数
平成9 (1998)年	ナホトカ号重油流出災害	丹後ボランティアネット／33,666人
平成16 (2004)年	台風23号災害	福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、大江町、加悦町、伊根町災害VC／12,220人
平成24 (2012)年	京都府南部豪雨災害	宇治市災害VC／3,265人
平成25 (2013)年	台風18号災害	福知山市、舞鶴市、南丹市、亀岡市災害VC／8,497人

迅速に立ち上げて活動を行う基盤ができていました。災害への組織的な備えとして、官民協働による常設型災害VCの設置をめざしましょ。

水害と震災は違う震災時の災害VC活動の想定を

水害と震災では災害VCの活動内容が異なると言われてます。京都では、地元の震災による災害VC活動を体験していません。南海トラフ巨大地震に備えるためにも、震災を想定した訓練や研修をしておきましょ。

新たな絆をつくる災害VCに

阪神淡路大震災から今年で19年を迎えます。神戸・三宮の東遊園地の碑文には「震災が奪ったもの 命 仕事 団欒(だんらん) 街並み 思い出：たった一秒先が予知できない人間の限界：震災が残してくれたもの やさしさ 思

ボランティアセンター 災害VCの支援力を高めるために

京都における豪雨災害支援から見てきたこと

豪雨災害支援から見てきた支援力を高める7つのポイント

● 災害時への備えを常設化する

災害時に、災害VCのことが知られていなかったり、支援を受けることに遠慮を感じる人があったりする場合があります。普段から、災害VCのことを地域の人たちに知ってもらう取り組みをましょ。

災害VCの立ち上げや運営を想定した訓練や研修に取り組むことも大切です。

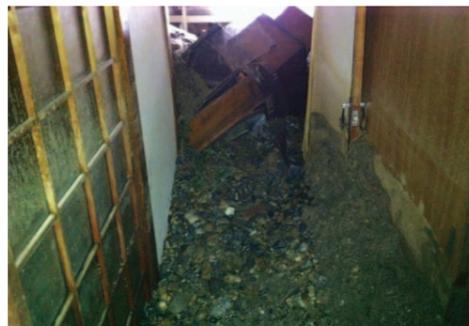
また、災害VC運営の核となる社協は事業継続計画（BCP）を立てましょ。

● ニーズに素早く応える

水害の場合、天候が回復し水が引き始めたら、地域や家庭で復旧作業がはじまります。災害VCの立ち上げからボランティアの派遣までの時間をできるだけ短縮する運営を考えましょ。

● 資機材や情報環境の整備、ボランティアの安全衛生

災害直後のスピーディーな支援のため、必要な資機材は備



蓄しておきましょ。

固定電話やネット環境の整備には時間がかかる場合があります。特に、災害VCを屋外に設置する想定の場合は備えが必要です。

ボランティアの安全衛生は後回しになりがちですが、立ち上げの時からボランティアの手洗いやうがい、資機材の洗浄などができる環境を整うよう訓練しておきましょ。

● 自治会との連携・協働で支援を面に

自治会との連携・協働により、自治会単位でニーズを集めたり、ボランティアを受け入れたりとすることができ、自



いやり 絆(きずな) 仲間」と刻まれています。

京都での水害時にも、「お世話になったボランティアにもう一度会ってお礼が言いたい」という被災された方の声があったり、「以前の災害で京都にお世話になったので、その恩返しを」と東北等から駆けつけていただいたボランティアもありました。

災害は本当にづらい状況をつくりだしますが、災害VCはその支援活動を通じて新たな絆をつくる役割があることを大切にしたいものです。

平成25年度 人権擁護啓発ポスターコンクール

京都府社会福祉協議会会長賞が決定しました！

京都人権啓発推進会議主催の人権擁護啓発ポスターコンクールは、府内の小・中・高等学校の児童・生徒が、人権をテーマとしたポスター(絵画)の制作を通じて基本的人権について一層理解を深め、人権尊重の精神を養う機会とするため昭和59年度から実施されています。

今年度は小・中・高の中から178校4,841件の応募がありました。そのなかから京都府社会福祉協議会会長賞として、福知山市立菟原小学校2年「寺地悠太郎(てらじ ゆうたろう)」さんの作品が選ばれました。

作品は京都府ホームページでご覧いただけます。





単独療育

療育の仕事に就いたのは、子どもとお母さんに関わる仕事がしたいという思いからでした。初めてクラスを持った時、大学を卒業したばかりで色々な事が巡り、不安でいっぱいになった事を今でも覚えています。

仕事を始めた頃は、子ども達とどれだけ心を通い合わせられるかだ！と思い、ただひたすら、がむしゃらに向き合っていました。そんな中で子ども達の

「ここに来ると元気がでる。子どもがかわいくなった。家や保育所で、こんなことができたよ。先生ありがとう。」こんな言葉を保護者の方から頂ける事が、今の私の大きな原動力になっています。時には厳しい言葉もありました。「障がいのある子を産んだ事がない先生にはわからない」と言われた時は、心に大きな何かが刺さったような気持ちになりました。「ああ私は何もわかっていなかった。」と改めて思い知らされました。心に寄り添う大切さについて考えさせられ、子どもの将来を見据えて子育ての中で

今も療育に携わる上で学ばせて頂く事の方が多いです。子どもの発達には奥が深く、今も細やかにその子の姿や発達を捉えていく事に四苦八苦しています。これからも、地域で暮らす子ども達がどんな境遇であっても、ありのままの力を発揮していけるような手立てや関わりを見つけてられるように、保護者の方々と、そして子ども達と共に歩んでいきたいと思っています。



親子療育

夢中! 熱中!

だから続けたい この仕事

ふくしびと

福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で「熱い福祉」を「夢中」で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいや「生」の声をお届けします。

ありのままの力を発揮できることを願って

心を通わせる 支援を大切に

倉光 綾さん

●くらみつ あや
 施設名: (福)南丹市社会福祉協議会 児童発達支援事業所 つくし園
 事業所住所: 〒622-0031 南丹市園部町船岡横茶園
 HP/URL: <http://care-net.biz/26/nantanshakyo/>
 TEL.0771-62-2978
 職種: 保育士
 経験年数: 福祉職通算9年
 ▶好きな言葉: ありがとう
 ▶夢中になっている事: 飼犬と遊ぶこと



亀岡市社協

ふくかめちゃん



プロフィール

誕生日: 平成17年10月16日
 身長: 117.6cm
 体重: 32kg
 好きな食べ物: ご当地スイーツ
 出身地: カメオカ
 性格: 心穏やかでいつも笑顔です。

誕生

平成17年に亀岡市社協の活動を広く知っていただくために、当時の職員が愛くるしいカメをモチーフにデザインしました。同年10月に開催された亀岡市社協のビッグイベントである「福祉のつどい」で誕生し、当日、来場者の皆様へ名前を公募し「ふくかめちゃん」と命名していただきました。

福祉から「ふく」、亀岡から「かめ」、亀岡市社協のキャラクターとしてピッタリの名前をつけていただき、誰からも覚えてもらいやすく愛らしい名前が親しまれています。

活躍

誕生から8年間、ホームページ、広報紙さらには社協の会費の領収書や職員の名札にかわいい笑顔で登場し、亀岡市社協の「顔」として地域の皆様に喜んでいただいています。

職員が手作りで缶バッジを製作し、イベント等でプレゼントしたり、また自分で着色する「オリジナル特大缶バッジ」は多くの子どもたちに好評で、老若男女問わず皆様にたいへん喜んでいただいています。今年は、社協法人化40周年記念行事に、参加していただいた皆様に「ふくかめちゃん」ボードへメッセージを書い

ていただき、素敵なメッセージボードが出来ました。また、「ふくかめちゃんグッズ」としてタオル・ハンドタオルやクリアファイルにも登場し、グッズ販売を開始いたしました。

これから社協と地域の皆様をつなぐキャラクターとして、もっと活躍の場を広げていきますので、「ふくかめちゃん」を応援してください!!

販売を開始した
ふくかめグッズ



▲40周年を記念した
「ふくかめメッセージボード」



第62回

京都府社会福祉大会を開催

10月31日(木)、京都府民総合交流プラザ(京都テルサ)において第62回(平成25年度)京都府社会福祉大会を開催しました。

当日は、京都府内(市内を含む)全域から900名近い方々にご参加いただき大盛会となりました。

第一部は、表彰式典が行われ、永年にわたり社会福祉事



和い和いミーティング

業に貢献された民生児童委員、社会福祉施設、団体、社会福祉協議会の役員の方々と、ボランティアとして活躍された方、また、多額のご寄付やご協力をいただいた方々が表彰状・感謝状をお受けになりました。知事表彰では203の個人・団体、府社協会長表彰・感謝は428の個人・団体、府共済会長表彰・感謝は232の個人・団体へ表彰状・感謝状が贈呈されました。

式典の最後には、社会福祉の向上に取り組んでいくことを広く府民にアピールするために大会決議を行いました。

第二部は「様々な主体による安心・安全な地域社会について」住み慣れた地域で安心して暮らせるしくみづくり」をテーマに、『知事と和い和いミーティング』を開催し、地域で様々な実践をされている方々と京都府知事との対談・交流が行われました。

寄付 ご寄付ありがとうございました

平成25年9月発生の台風18号大雨災害における災害ボランティア活動支援のために、平成25年11月22日(金)に奈良県社会福祉協議会様より100,000円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

寄付 ご寄付ありがとうございました

平成25年11月29日(金)に公益財団法人京遊連社会福祉基金様より500,000円のご寄付をいただきました。ボランティア振興事業のために活用させていただきます。ありがとうございました。

寄付 ご寄付ありがとうございました

平成25年12月4日(水)に関西遊技機協同組合(関西遊商)より車イス7台のご寄付をいただきました。これらの車イスは、京都市を含む京都府内の社会福祉協議会の活動に活用させていただきます。ありがとうございました。

寄付 ご寄付ありがとうございました

平成25年12月9日(月)に自由同和会京都府本部様より100,000円のご寄付をいただきました。ボランティア振興事業のために活用させていただきます。ありがとうございました。

案内 施設の新築や増改築を考えておられる社会福祉法人の皆さまへ
府社協では低利による融資を行っています

本会では、京都市内(京都市を除く)の社会福祉法人に対し、「施設整備等融資金貸付事業」を行っています。貸付対

象事業には次のようなものがあります。

- 社会福祉施設の新設や増築費用
- 社会福祉施設の修繕や改築費用
- 固定設備や屋外設備、器具等備品の整備費用
- 施設の新設等を行うための土地取得費用
- (独)福祉医療機構の貸付金や地方公共団体の補助金が交付されるまでのつなぎ資金

貸付限度額は50,000,000円(特養のみ100,000,000円)、償還期間は10年以内で、貸付利率は、(独)福祉医療機構の貸付利率を適用しています。なお、この融資金は(独)福祉医療機構と併せて借入することが可能です。

貸付事例として、保育園舎の耐震化に向けた改築やグループホームの増築、設備の老朽化に伴う取替工事等への貸付があり、これまでに60以上の社会福祉施設にご利用いただいています。

詳しくは、本会ホームページ(市町村社協・福祉事業者の方へ)をご覧ください。TEL.075-252-6291

案内 第3回福祉職場就職フェア 京都を開催します！

京都府内の約120事業所が出展する福祉職場就職フェアで、魅力的な職場と仕事に出会おう！セミナーや情報コーナーも盛りだくさんです。

- **日時** 平成26年2月11日(祝・火) 10:00～16:00 <説明会は、12:00開始>
- **会場** みやこめっせ(京都市勧業館)
- **主催** 福祉職場就職フェア実行委員会
- **対象** 平成27年3月卒業予定学生、平成26年3月卒業予定学生、一般求職者等
- **内容** ■福祉の仕事入門講座など各種セミナー ■合同就職説明会

■各種相談ブース等

- その他、福祉職場見学バスツアー(2月22日(土)・23日(日))や職場体験(3月3日(月)～12日(水))など関連企画も多数開催します！
- ※詳しくは、下記までお問い合わせください。

京都府福祉人材・研修センター福祉人材課 TEL.075-252-6297

案内 安心して暮らせる地域づくりのパートナー
京都府社協では賛助会員を募集しています！

京都府社会福祉協議会は社会福祉法に基づき設立された社会福祉法人です。京都府の地域福祉を推進する民間団体として、「福祉で地域づくり」を合言葉に、住み慣れた地域でだれもが安心して生活できる、そんなまちづくりをめざしています。ぜひ、「賛助会員」として、本会の活動をご支援ください。

会費額(年額)

- 賛助会員 個人 1□5,000円、法人 1□10,000円で希望□数

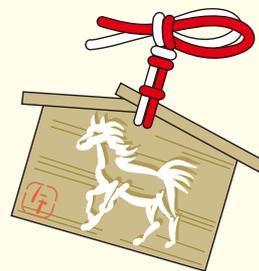
賛助会員についてのお問合せ・お申込先

京都府社会福祉協議会 総務部総務課 〒604-0874 京都市京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375

TEL.075-252-6291

FAX.075-252-6310

HP <http://www.kyoshakyo.or.jp/introduction/introduction4/post-2.html>



- 「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せください。表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)

- 本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。
<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。